

**令和7年度 大学教育再生戦略推進費 高度医療人材養成拠点形成事業
(高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援)**

自己点検評価

学校名：学校法人藤田学園 藤田医科大学

事業名：感染症から命を守り、こころの病の克服を目指す臨床研究教育拠点

令和7年度 補助事業実施計画

① 4月 微生物検査室・感染対策室を含む診療参加型臨床実習・AMRカリキュラムの提供開始、研究支援者・SAの協働による研究促進（感染症領域）。放射線診断学講座・協力機関（PGC,ジェノニクス）を含む診療参加型臨床実習の提供開始、研究支援者・SAの協働による研究促進（精神疾患領域）

【自己点検評価】

≪感染症領域≫

診療参加型臨床実習：

臨床検査科と協力し、臨床実習におけるグラム染色と迅速抗原検査（インフルエンザのイムノクロマト法での検査）を開始した。

感染症科専門医の教育エフォートを活用し、臨床実習のワクチン外来におけるダブル指導医制度を開始した。これにより、医学生が予習・問診・実際のワクチン接種・振り返りのサイクルを経験できる体制が確立した。

AMRカリキュラム：

感染症科の臨床実習において、AMR（薬剤耐性）の臨床的知識の達成度を計測するためのプレテスト、ポストテストの運用をグーグルフォームで開始した。

研究促進：

19名のSAが臨床研究の支援（感染症科）、トランスレーショナル研究の支援（感染症研究センター・ウイルス学）に従事した。

≪精神疾患領域≫

遺伝子検査サービスを提供する協力機関ジェノニクスと共同し、院内に設置されているジェノニクスのサービス窓口の現場で、各個人の遺伝的な特徴をもとにした健康推進、効果的な疾病リスク判断や遺伝学的研究成果を根拠とした治療薬選択にいて学ぶ機会の提供を医学部4、5年生対象に開始した。

研究支援者が収集した臨床情報について、指導教員の指示のもとSAがデータ整理を実施した。また、ジェノニクスと共同して解析した薬物動態関連遺伝子多型データを用いた、Pharmacogenomics研究をSAと指導教員が共同し実施した。

② 5月 高度医療人材研究教育プログラム作成開始

【自己点検評価】

令和7年度内のコンテンツ完成を目標に、プログラム構成を検討した。研究教育プログラムのシラバス作成を開始した。

③ 12月 事業進捗報告のための他事業機関とのwebミーティングの開催

【自己点検評価】

事業協力機関会議を2025年12月に開催した。事業の取り組み状況を報告し意見交換を行った。

④ 12月 研究教育シンポジウムの開催

【自己点検評価】

2025年12月3日に、臨床研究に関する外部講師の講演とパネルディスカッションを通じて、本学の次世代を担う臨床研究エキスパートを育成する目的で、臨床研究シンポジウムを開催した。

⑤ 3月 教育支援者・研究支援者雇用（新規・継続雇用）に向けた面接の実施

【自己点検評価】

教育支援者・研究支援者については、次年度の継続雇用にかかる面接を実施した。また、SAの雇用責任者に継続雇用の意向確認を行った。

⑥ 3月 自主点検評価委員会の実施

【自己点検評価】

自己点検評価委員会をメール会議にて実施する。（本紙が資料となる）

⑦ 3月 高度医療人材研究教育プログラム コンテンツの完成

【自己点検評価】

研究教育プログラムのシラバスに則り、動画コンテンツを作成した。また、対面実施のコンテンツについては、令和8年度より順次実施する予定である。

⑧ 随時 SAによる研究成果の学会発表

【自己点検評価】

SAによる研究成果の学会発表を下記の通り実施した。

＜感染症領域＞

【学会発表】

国内学会

口頭発表：3件、ポスター発表：2件

国外学会

口頭発表：該当なし、ポスター発表：該当なし

【論文執筆】

主著：該当なし、共著：該当なし

＜精神疾患領域＞

【学会発表】

国内学会

口頭発表：5 件、ポスター発表：7 件
 国外学会
 口頭発表：該当なし、ポスター発表：2 件
【論文執筆】
 主著：1 件、共著：該当なし

⑨ 随時 教育支援者・研究支援者・SA の勤務環境整備

【自己点検評価】

前年度から引き続き、勤務環境整備として本事業関係者が使用する PC や試薬を購入している。また、SA 勤務管理の観点で運用ルールを定め、運用している。

⑩ 随時 大学ホームページにおける事業概要及び進捗成果の発信

【自己点検評価】

前年度から引き続き、本事業概要及び進捗成果を随時行うためのページを更新している。

総評

高度医療人材養成のためのカリキュラム整備に注力して取り組んだ。当初の予定通り、順調に事業を遂行している。